2025年 プログラム近況報告
グアテマラ　チセク地域開発プログラム

温かいご支援をありがとうございます



チャイルド・スポンサーの皆さまに心から感謝いたします。皆さまのご支援は、チセク地域に大きな変化をもたらしています。子どもたちは新しい机で学び、保健サービスを受け、積極的に地域の活動に参加しています。

ビクトル・ショル・カオ
チセク
地域開発プログラムマネージャー

ご支援によって、チャイルドや地域の人々に

100%

保健スタッフやボランティアの100%が、産前産後に特に必要なサポートに関する研修に参加しました。妊産婦や新生児に適切なケアを提供しています。

3,068

3,068人の子どもが、周囲の人への思いやりや、価値観の尊重などを学ぶ啓発活動に参加しました。自分が大切な存在であることを理解し、良好な人間関係を築くために必要なことなどを学びました。

グアテマラ　：　日本

出典：国連開発計画（UNDP）、国連児童基金（ユニセフ）、世界銀行　2022年 世界保健機関（WHO）　2024年

18歳未満の女子1,000人あたりの出生数		深刻な栄養不良の5歳未満児の割合		平均就学年数	
64.1	2.9	43.5%	5%	5.7	13.4

チャイルド・スポンサーシップは、途上国の子どもの健やかな成長のために、子どもを取り巻く環境を改善する長期的な支援を行います。地域の状況に応じて水衛生、保健、栄養、教育、生計の改善に取り組んでいます。



「私の娘はよく下痢を起こし、それによって栄養不良に陥っていました。でもワールド・ビジョンの食事指導と食料支援を受けることができ、娘の健康状態は大きく改善しました。今では、とても元気で楽しそうに過ごしています」
ロザリアさん、母親（子どもを抱いている女性）

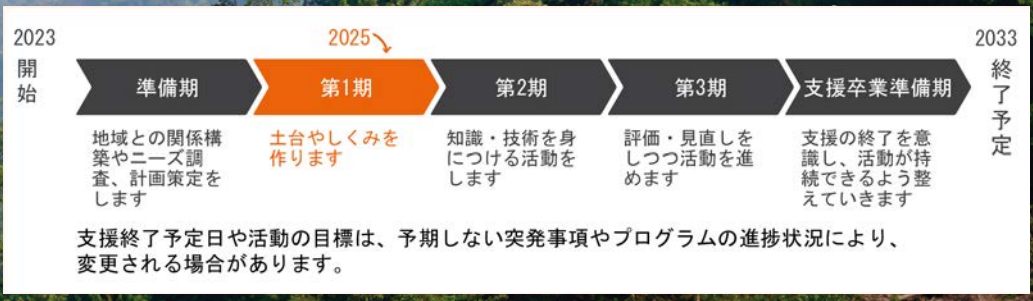
大きな変化がもたらされています

311

子どもを持つ保護者311人が生計向上プログラムに参加し、家計を安定させ収入を向上させる方法を学びました。子どもたちの日々の生活に必要な物を購入できるようになります。

1,624

1,624人の母親が、子どものケア、予防接種、定期的な身長・体重測定や栄養状態の確認などの重要性を学ぶ研修に参加しました。



「子どもたちの夢が実現可能になりました」



「以前、生徒たちは教室に立ったまま、あるいは硬いブロックの上に座って授業を受けていました」。そう話すのは、教員のフランシスコさん（右から２番目）です。「私が勤める学校は設備が整っておらず、学ぶ環境としてはとても厳しいものでした」

チャイルド・スポンサーの皆さまのご支援によって、ワールド・ビジョンは教員や地域リーダー、ボランティア、宗教リーダーたちと協力し、備品の不足といった、地域の学校の差し迫ったニーズに対処する研修を実施しました。

「いま、生徒たちは快適な環境で学ぶことができています。学校設備が整って授業に集中できるようになったことで、子どもたちはより良い未来を築いていくことができます。質の高い教育を受けられず、かつては手が届かないものに思えた子どもたちの夢も、今では実現できると信じられるようになりました」



チャイルドの最新情報や写真・動画を見られる
「マイ チャイルド」および
登録情報の変更など、各種お手続きができる
「マイ ワールド・ビジョン」はこちらから

World Vision

ご支援により、子どもたちを取り巻く環境が改善されています

グアテマラ　チセク地域開発プログラム（GTM-220969）

2024年度（2023年10月1日～2024年9月30日）

会計報告

プログラム支援額	（単位：円）
チャイルド・スポンサーシップ当期支援額	31,935,975
前期からの繰越額	95,519
プログラム支援額合計	32,031,494

プログラム支出額	
栄養・食糧安全プロジェクト	8,364,879
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	23,666,615
プログラム支出額合計	32,031,494
次期繰越額	

活動内容

栄養・食糧安全プロジェクト

- 地域の人々への栄養に関する研修
- 子どもの保護のための研修
- 子どもの栄養状態の測定と栄養不良児の治療
- 地域の診療所への栄養状態診断設備の供与

スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト

- 手紙や成長報告を通したチャイルドとの交流
- チャイルドの定期的なモニタリング
- 「子どもを中心とした開発」についての啓発活動
- 子ども用の医療用品の供与
- 幼稚園・小学校の教室への机・椅子の供与

お問い合わせ
特定非営利活動法人　ワールド・ビジョン・ジャパン
TEL：03-5334-5351
Eメール：dservice@worldvision.or.jp
ホームページ：www.worldvision.jp